



福島・小高プロジェクト

2015/4/14

プロジェクト報告会

D1 益邑明伸／M2 太田慈乃／M2 川田さくら／M2 黒本剛史／M2 今枝秀二郎／窪田亜矢 教授
李美沙／黒瀬武史 准教授

1

福島・小高プロジェクトとは

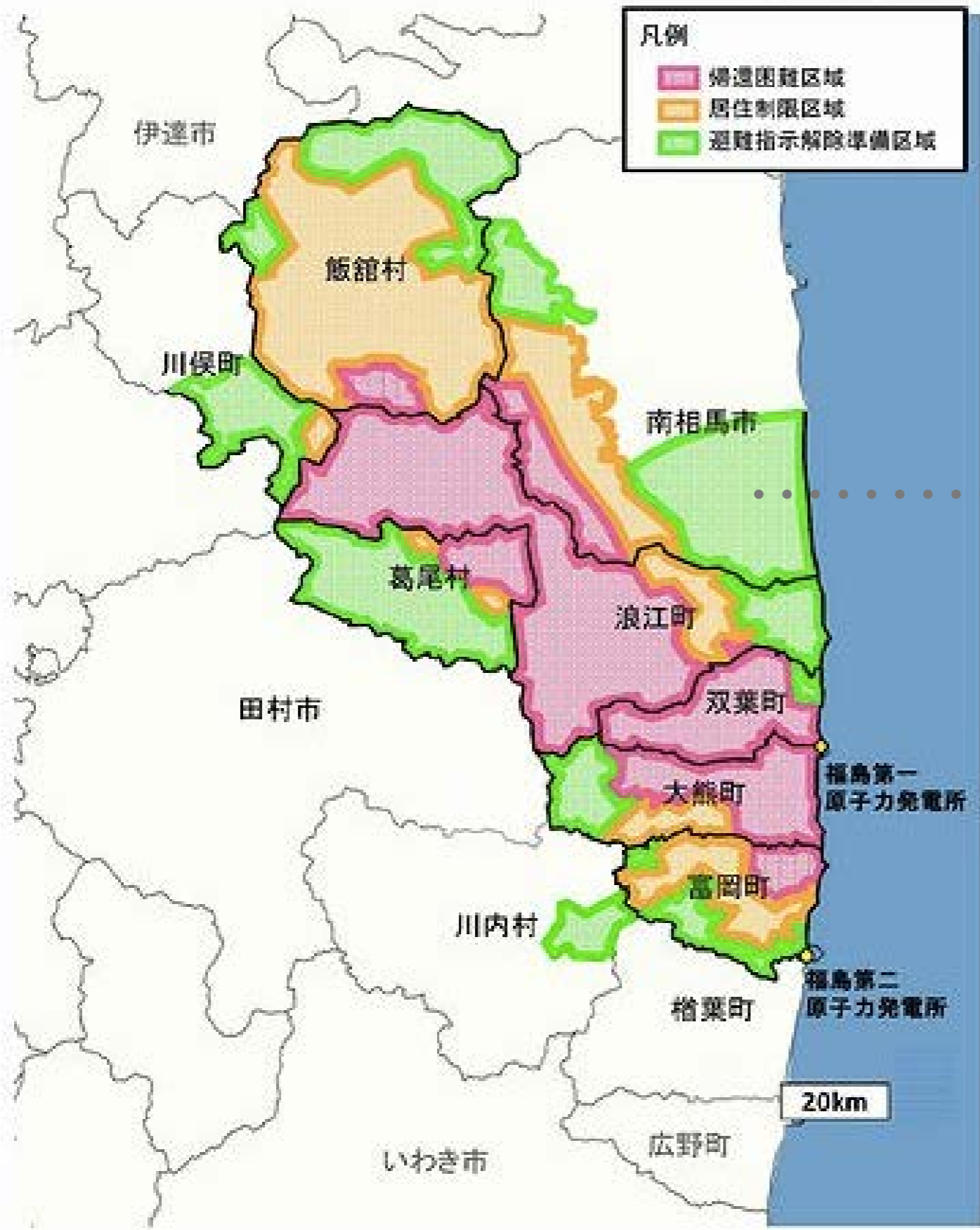


南相馬市小高区
91.95km²
12,546人(2010)

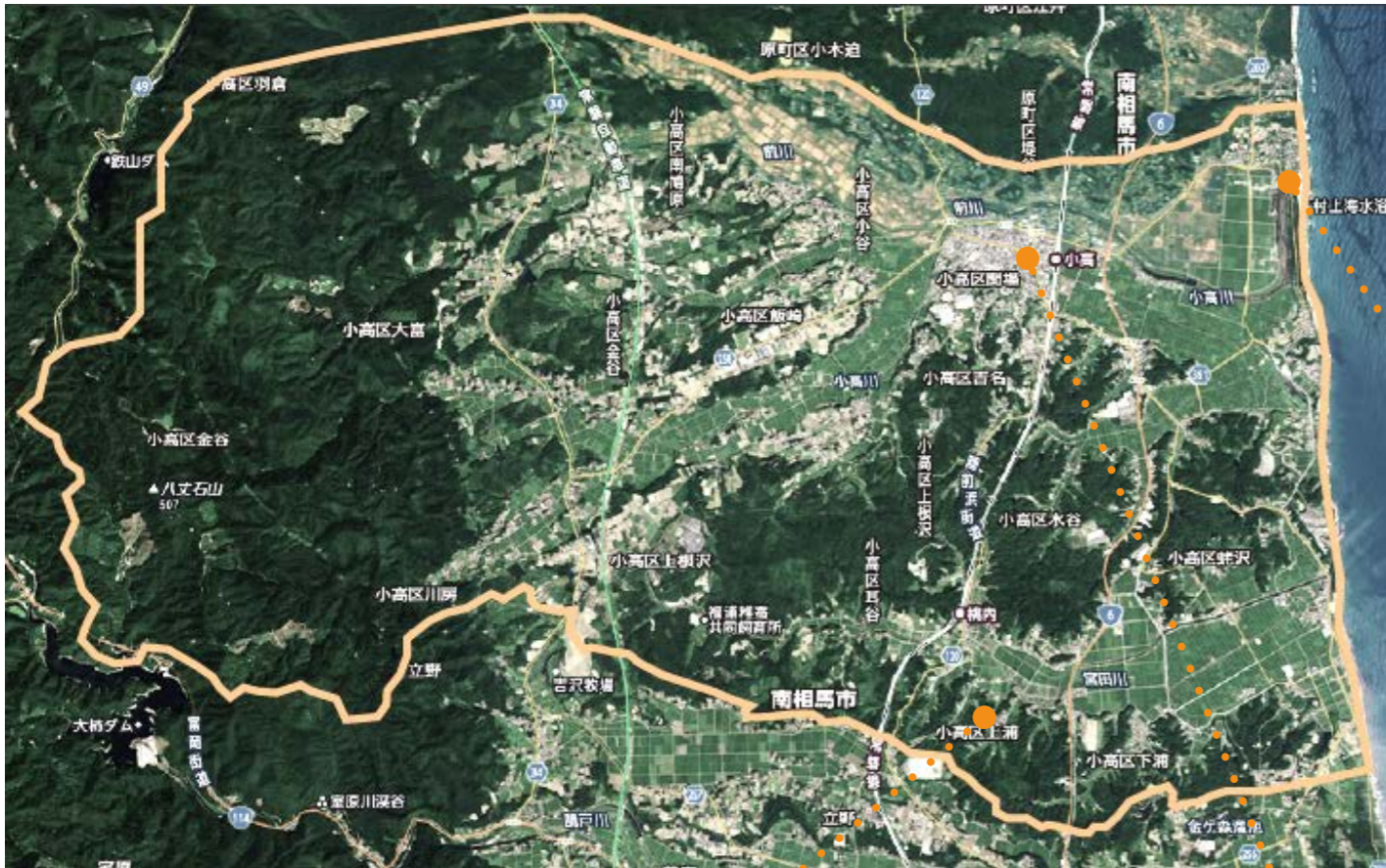
福島第一原発

避難指示区域の概念図

平成27年9月5日時点



..... 南相馬市小高区
2016年6-7月頃
避難指示解除予定



山際の集落



まちなか



海沿いの集落

前例のない、地震×津波×原発の複合被災により
5年以上居住できなかった小高に、
日常の風景と暮らしを取り戻すための
住民、行政、外部、協働の地域構想づくり。

2

2014年度の活動

再び人が暮らすために
地域の将来のために
今なにをすべきかを、
住民の方々とともに考
えた。

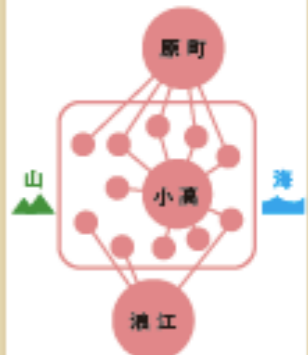


小高地域構想ワーキンググループ
(小高区地域協議会のもとに位置付けられる)

大切に考える「七つの柱」

多様な在から成る

東西約20キロメートル、高低差五百メートル、多様な行政区には、自治の仕組みと文化があります。震災を契機に、失われつつもあります。小高らしいゆたかさを認識し、共有することに意義があります。



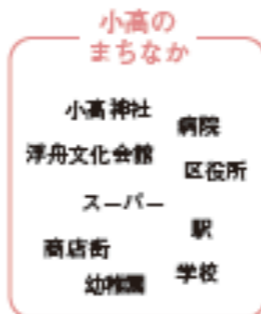
これまでの蓄積を活かす

歴史的な建造物、養蚕や機械りの記憶は、過去の蓄積です。これらは小高らしさの要素であり、小高再出発の原動力となるでしょう。



まちなかが再生拠点 小高区の支柱となる

在と小高のまちなかの関係の深さは多様でした。在がまちなかを支え、まちなかが在を支えていた時代もありました。避難指示解除後の拠点として、まちなかの役割が重要です。



新たな生業に挑戦する

小高は、農業、漁業、網業、流通、工業：厳しい状況に際して新たな産業や知恵で乗り越えてきました。たとえば大富では、農業不振の中で酪農研究会を組織し、成功してきました。



活動が芽生える

人が集う場や情報を共有する場ができ、再開した店や事務所もあります。漁業や酪農を再開する決意をしている人もいます。小高の将来像は、そうした活動の先にあります。



人と小高の、 いろいろな繋がりをもつ

小高への想いは人によって様々ある中で、それぞれに合った形で、まちとの関係を育みたい。未成年世代との丁寧な対話も重要です。



災害・放射線リスクに 向き合う

将来世代のためにも、放射能汚染のリスクとの向き合い方を模索しつつ、度重なる災害を乗り越えてきた経験に、また一つ、知となるものを残したいものです。

災害	対応例
肌痛	蔵
水害	川の改修
火災	道路拡張
放射能	???

3

2015年度の活動

第一回
ワーキンググループ
小高あるき



歴史的建造物の専門家らと
小高のまちなかを巡り、
小高の魅力を再発見。

第二回ワーキンググループ 放射線コラボ講演



身近な不安について住民が専門家らと議論

第三回ワーキンググループ

まちなカフェ

小高[×]あるき

まちなかプランWS

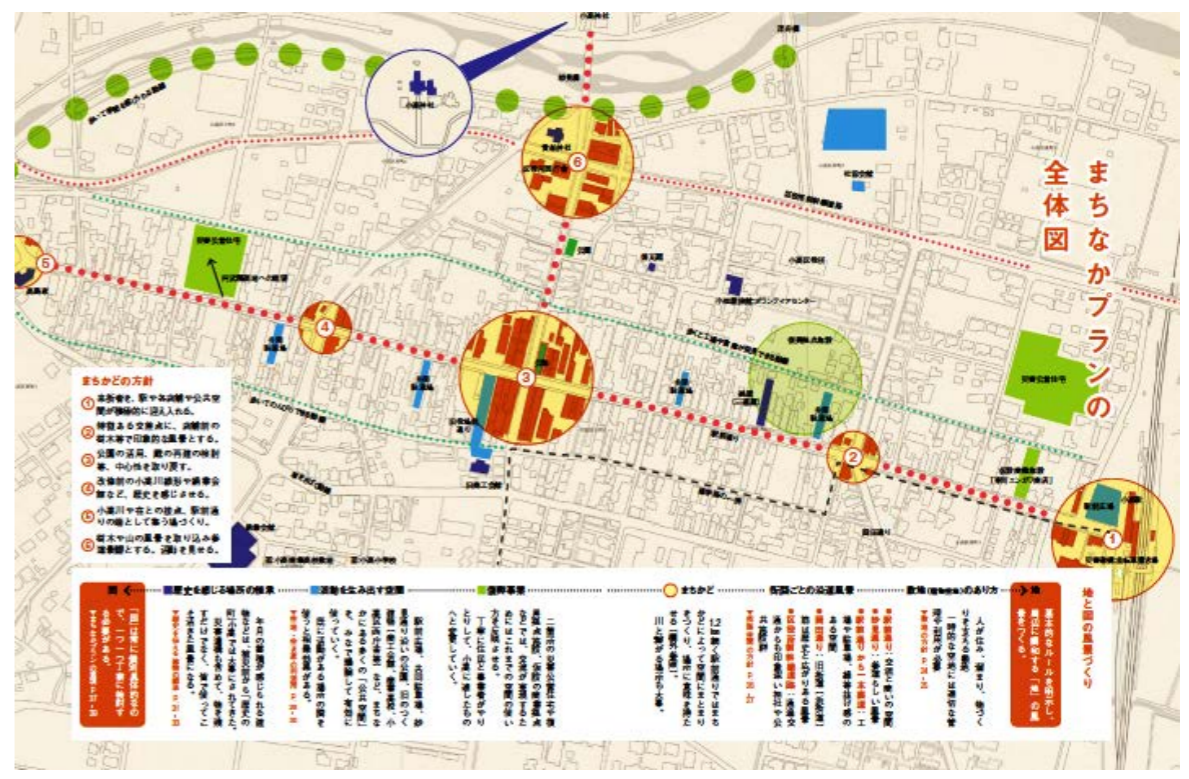


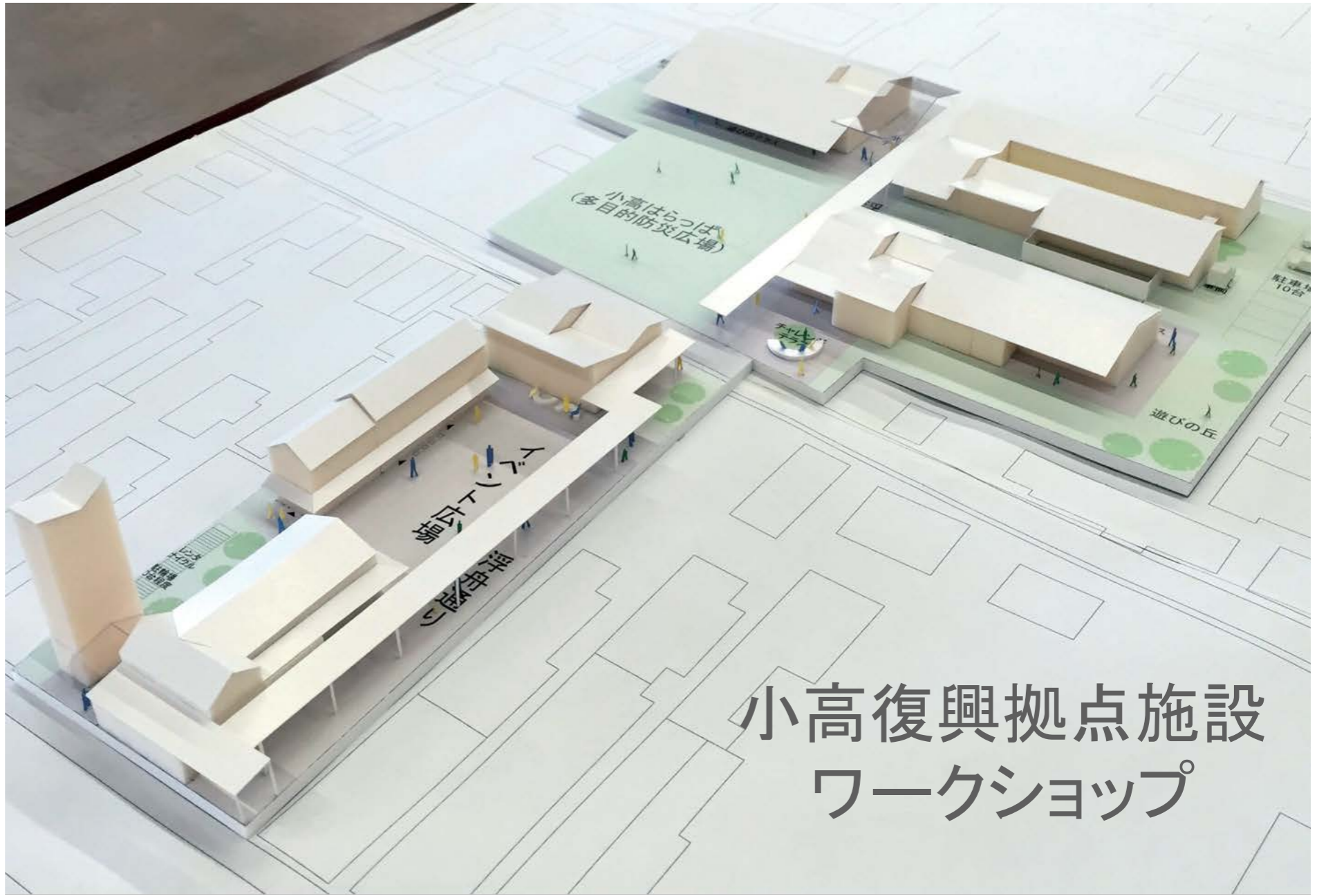
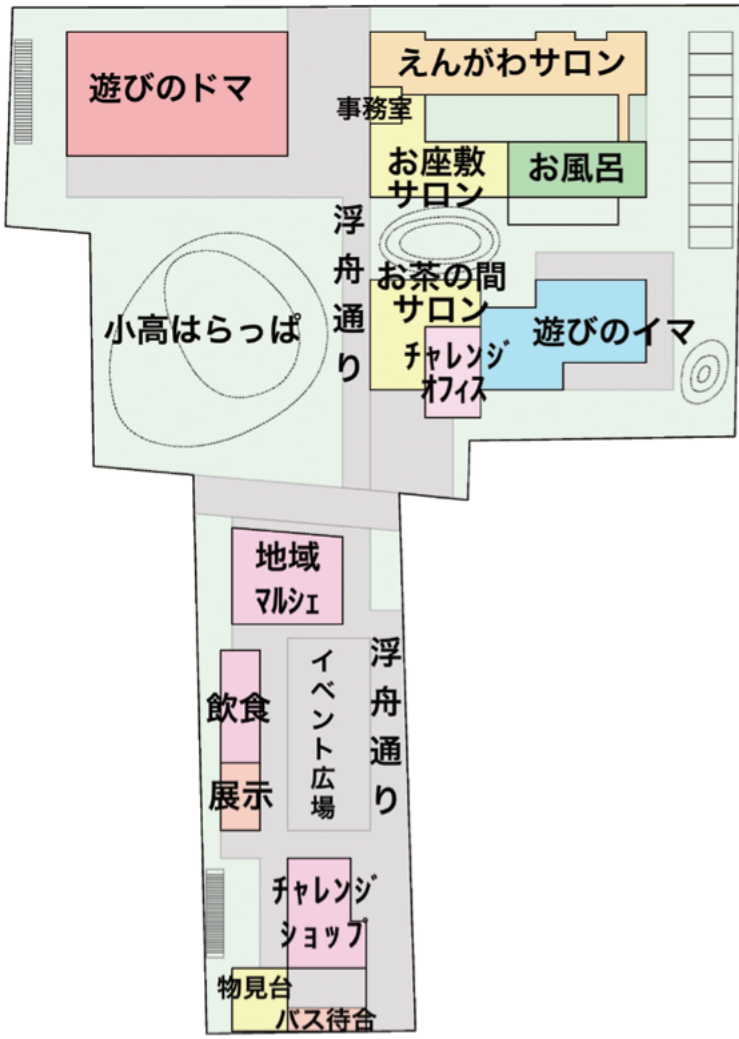
第五回ワーキンググループ 地域福祉座談会



実践者の情報共有の場

小高まちなかプラン 作成・市長に提出





小高復興拠点施設 ワークショップ



第四回 ワーキンググループ 上浦あるき

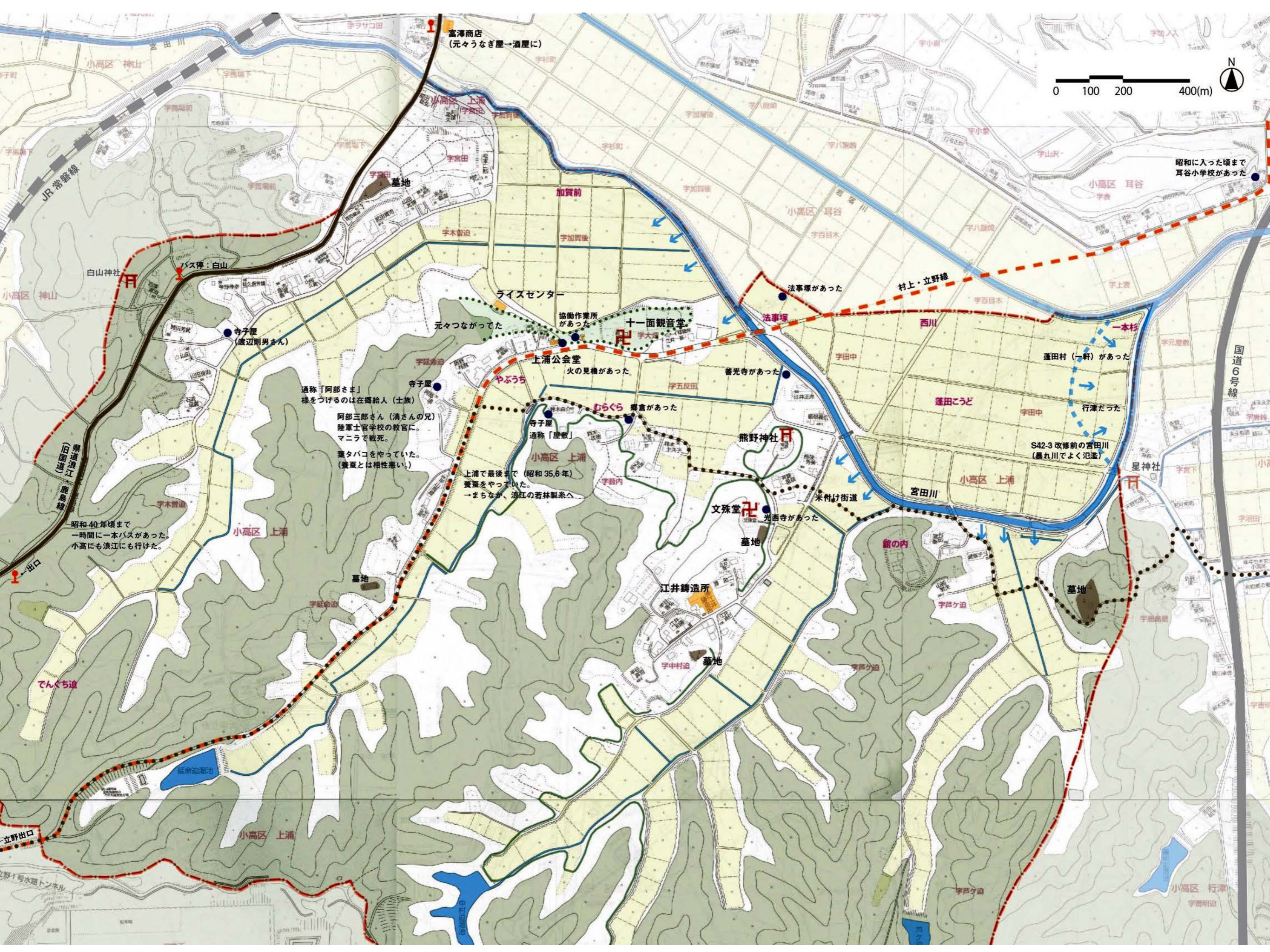
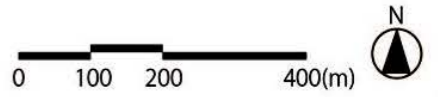


地元の方々と集落を歩き、
地域の歴史を学び、
風景を楽しむ。



上浦ワークショップ

上浦に住もうとしている人、戻らないが繋がりをもち続けたいと考えている人、若い世代とともに、震災前の上浦の暮らし・価値を共有し、今後の上浦を話し合う。



昭和に入った頃まで
耳谷小学校があった

小高区 耳谷
字委

村上・立野線

法事塚があった
法事塚

蓮田村(一軒)があった

行津だった

S42-3 改修前の宮田川
(曇れ川でよく氾濫)

星神社

宮田川

小高区 上浦

熊野神社

文殊堂
光西寺があった

墓地

江井鑄造所

墓地

字中村泊

館の内

墓地

ライセンスター

協働作業所
があった

十一面観音堂

上浦公会堂
火の見櫓があった

善光寺があった

わくら 稲倉があった

寺子屋
通称「慶敷」

小高区 上浦

字教内

やぶうち

上浦で最後まで(昭和35,6年)
養蚕をやっていた。
→まちなが、浪江の若林製糸へ

通称「阿部さま」
様をつけるのは在郷給人(士族)
阿部三郎さん(清さんの兄)
陸軍士官学校の教官に。
マニラで戦死。
葉タバコをやっていた。
(養蚕とは相性悪い)

寺子屋

墓地

墓地

小高区 上浦

小高区 上浦

バス停: 白山

白山神社

富澤商店
(元々うなぎ屋→酒屋に)

墓地

加賀前

字加賀後

字木曾泊

字高田

字高田

字高田

字高田

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

小高区 神山

昭和40年頃まで
一時間に一本バスがあった。
小高にも浪江にも行けた。

でんくち迫

立野出口

立野1号水害トンネル

国道6号線

字山沢

字山沢

字山沢

字山沢

小高区 行津
字南泊

高校生PJ

南相馬市の高校生たちが、
地域を学びながら、
地域の人々と
つながりを継続できるように



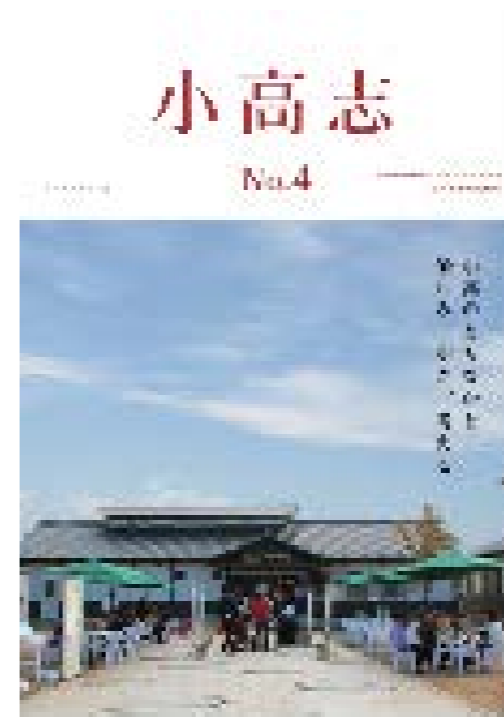
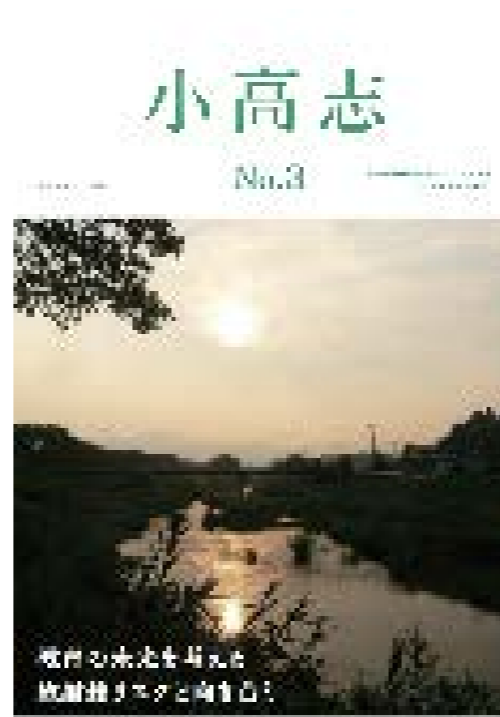
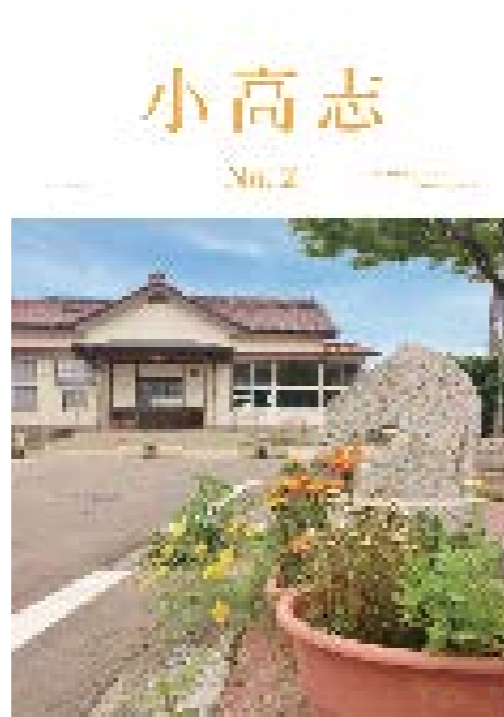
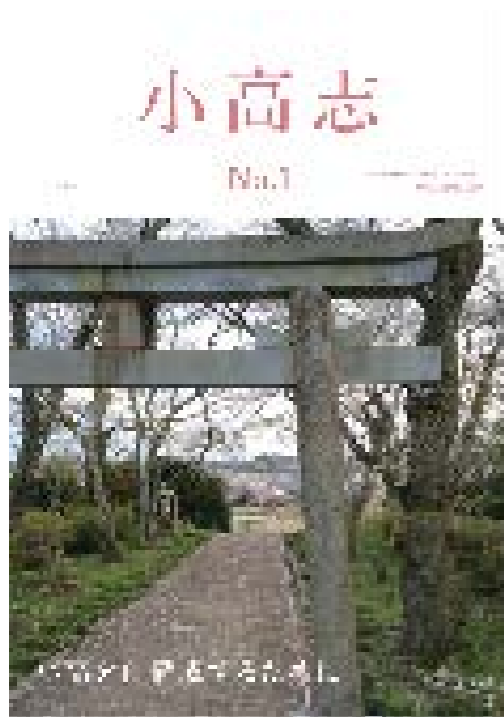
テーマ別調査

- 福祉、医療
- 交通、地域の足
- 教育
- まちなかの空き地・空き家
- 行政区長
- 再開事業所、活動の芽生え
- 集落調査



小高志の作成

2015年度はNo.1～5まで発行し、全戸配布



避難先でばらばらとなっている小高のみなさまに、
小高の今をお届けする。

3

2016年度の活動予定

「(仮)小高復興デザインセンター」

予算化・事業化を南相馬市と東京大学が双方で行い実現化。

小高の復興に向けて、

住民の知恵・意欲・ネットワーク、行政の法制度・事業・支援、ボランティアの貢献、専門家の研究による計画サポートなど多様な主体の協働の体制・その拠点を築く。

(仮)小高復興デザインセンター

定常機能

- ギャラリー—
- サロン—
- 相談—
- 情報発信—

復興構想会議

各部会＋実践報告
情報共有
市長も参加

5つの部会

- 行政区部会—
- まちうち部会—
- 生業再生部会—
- ネットワーク部会—
- 放射線リスク部会—

実践

- 高校生PJ—
- 上浦PJ—
- …などなど



地域構想の策定

小高復興デザインセンターの 拠点となる社協会館を リノベ中です！！



プロジェクトメンバーを募集しています。
福島・小高PJに興味のある方は、
窪田亜矢 (ak@td.t.u-tokyo.ac.jp) までご連絡ください。